



世界中の様々な場所で活躍している
テイコクキャンドモータポンプ
私たちはキャンドモータポンプの
リーディングカンパニーです

(ご参考) 2024年3月期業績見通しの前提条件について



株式会社 帝国電機製作所

2024年3月期業績見通し：売上横ばい、10%減益を想定



上期：前期受注残をこなし堅調に推移 下期：足許の受注状況を見て慎重な見通し

(百万円)	2022年3月期 (実績)	構成比 (%)	2023年3月期 (実績)	構成比 (%)	前期比 (%)	2024年3月期 (計画)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	22,244	100.0	28,450	100.0	+27.9	28,190	100.0	▲0.9
売上原価	13,192	59.3	16,377	57.6	+24.1	16,290	57.8	▲0.5
売上総利益	9,052	40.7	12,073	42.4	+33.4	11,900	42.2	▲1.4
販売費及び 一般管理費	6,557	29.5	7,049	24.8	+7.5	7,380	26.2	+4.7
営業利益	2,494	11.2	5,023	17.7	+101.4	4,520	16.0	▲10.0
経常利益	2,953	13.3	5,472	19.2	+85.3	4,680	16.6	▲14.5
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,987	8.9	3,996	14.0	+101.1	3,280	11.6	▲17.9

2024年3月期業績見通しの前提条件：下期業績を慎重に見込む



- ・受注残高は十分確保しているものの、受注環境変調を想定し、下期業績を慎重に見込む。
- ・コスト上昇の継続（原材料価格、人件費等の上昇）、若干の為替円高の影響を想定して減益へ。
- ・主力ポンプ事業の中長期的な環境対策への引き合いは堅調。

セグメント別		
ポンプ事業	全体	(売上) 横ばい。 上期：高水準の受注残高を抱え堅調に推移する見込み 下期：インフレ・金利引上げの影響もあり、欧米中心に足許の投資意欲、受注動向の弱含みが影響へ。 (営業利益) 10%減益。減収、原材料価格・人件費の上昇等による販管費増加、円高の影響あり。
	日本	・増収、利益横ばい：高水準の受注残高が根拠。 但し、主要顧客の化学業界で素材需要動向や市況の悪化が、今期受注へ不安材料。
	欧米	・減収減益：米国では、設備投資環境がインフレによる金利引き上げ等により弱含みだが、見積り引き合いは多く下期の受注回復を見込む。欧州は前期の大型案件が解消で反動減。
	アジア	・中国は増収減益、その他（韓国・インドなど）エリアでは減収減益で、全体で売上横ばい、減益の見通し。 ・中国では、受注は高水準を維持する見込み。他方、韓国・インドでは、前期大型案件の反動減あり、受注減へ。
電子部品事業		・需要は回復傾向にあり増収だが、人件費や原材料価格上昇の影響あり減益の見通し。

為替は、前期実績より若干の円高を想定。

計画為替レート(期中平均)

1US \$ =130.0円、1€=135.0円、1元=19.0円、1KRW=0.09円、1INR=1.6円
 (前期実績レート：1US \$ =131.6円、1€=138.2円、1元=19.5円、1KRW=0.1円、1INR=1.7円)

※ インドを除く海外現地法人の決算期は12月（インドは3月）

日本は、高水準の受注残と為替の影響少なく、増収へ

(百万円)	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (実績)	前期比 (%)	2024年3月期 (予想)	前期比 (%)
日本	6,679	7,372	+10.4	7,480	+1.5
欧米	4,901	6,914	+41.1	6,570	▲5.0
アジア	8,785	12,164	+38.5	12,100	▲0.5
合計	20,365	26,451	+29.9	26,150	▲1.1

※販売元が基準（外部顧客に対する売上でセグメント間は除く）